

高山の文化

No.195 2018.1.1 Culture in Takayama

一般社団法人 高山市文化協会発行

高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内 Tel.34-6550 Fax.34-6877

メールアドレス ●mail@takayama-bunka.org
ホームページアドレス ●http://www.takayama-bunka.org
文化情報番組「すばらしき文化の和」 ●HitsFM(76.5MHz)水曜AM9:30より放送中



道伝えの日 芭蕉忌句会 ●入賞句発表

十一月十八日(土)に高山市文化伝承館で開催した、道伝えの日事業「芭蕉忌句会」の入賞句をご紹介します。
選者/俳誌「飛驒」代表 小島幸男



- ◎一般の部(順不同)
兼題句「木枯」
- 【選者推薦】
木枯や駅のホームの非常ベル 柴田 恭子
木枯や塗師の散らせる金砂子 下垣内町子
木枯や弟たちに名はつけず 伊藤 秀雄
- 互選
【二席】
木枯らしや海一面にシヨパンの譜 谷口 茂雄
木枯がこがらしを追ふ峡の道 曾出 きよの
木枯や星をはなさぬ鬼瓦 桐山 久枝
- 【一席】
木枯や目に微笑みの六地藏 野口 喜代男
- ◎高校生の部(順不同)
飛驒神岡高等学校
- 【選者推薦】
亡き人に声かけて出る良夜かな 伊藤 浩子
かがやいてすぐ暮れにけり小六月 谷口 ふさ子
芭蕉忌にまゐらすお茶の香りかな 黒川 みつ恵
- 互選
【二席】
夕星や田に撒き終へし今年葉 中田 由紀子
- 【一席】
亡き人に声かけて出る良夜かな 伊藤 浩子
干し物と共に取り込む小春かな 横山 美保子
- 【三席】
水音のどこかにありて紅葉坂 尾崎 淑子
縁側に座布団二つ小春かな 保木 信子



「金蔵獅子」(ポスター原画) 玉賢三 B1サイズ(728mm×1030mm)

文化功労者を顕彰

高山市文化協会では、永年に亘り郷土の文化の振興と発展に寄与された方の功績をたたえ、顕彰しています。本年は三名の方を、1月1日開催の新年市民互礼会にて顕彰します。(敬称略・順不同)

文化功労者

- 松澤 初枝**(左京町)
茶道表千家岐阜県同門会 特別参与
永年に亘り日本の伝統文化である茶道を通じて高山市の文化振興に寄与され、後進の指導に貢献された功績
- 大下 宣子**(上一之町)
短歌結社「新アララギ」同人
永年に亘り短歌を通じて地域の文学の向上と高山市の文化振興に寄与され、後進の指導に貢献された功績
- 上仲 豊和**(花岡町1)
長唄三味線柏豊会 会主
永年に亘り長唄などの邦楽の普及を通じて高山市の文化振興に寄与され、後進の指導に貢献された功績

結びに、会員の皆様を始め市民の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

今後も親しまれる文化事業の開催に努めてまいりますので、どうか皆様方のご理解とご支援をよろしく願っています。

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、ご家族お揃いで希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
日頃は、高山市文化協会の



(一社)高山市文化協会
会長 小林 浩

活動に対しまして、格別のご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。
今年度予定してありました事業は、現在まで滞りなく進めることができました。これ

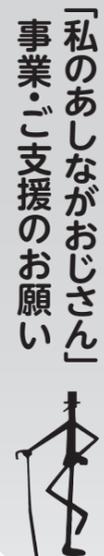
も偏に皆様方のご協力の賜であり、心から感謝いたします。
長年取り組んでおります新しい高山市民文化会館の建設計画については、当協会内に専門委員会を組織して、他都市の先進的な施設を視察してまいりました。今年はその資料を参考に、高山市文化協会が理想とする文化会館の構想をまとめる作業に取り掛かる予定であります。

このように数百年も続いた伝統の文化を保存すると同時に、未来に残す新しい文化を考え創造する時が現在来ていると思われまふ。発足から六十九年を迎える当協会には、市民一人ひとりが文化を身近なものと感じ、多くの人々が多様な文化活動に気軽に参加できる環境を作ることを目指しています。



当協会では、平成三十年度より「私のあしながおじさん」事業として、要支援の児童生徒とご家族を対象とし、文化芸術鑑賞事業を無料でご覧いただける事業を開始します。
つきましては、各企業様にもご支援を賜りたく、ご案内させていただきます。(ご支援

いただいた企業様は、当協会広報誌にご紹介させていただきます。
詳細については、事務局までお問い合わせください。
事務局
TEL〇五七七・三四・六五五〇
mail@takayama-bunka.org



「私のあしながおじさん」
事業・ご支援のお願い

- 【入賞】
秋の海心音のごと揺れてをり 二年 濱本 蔵人
生まれは土に帰りし彼岸花 一年 清水 千聖
熱燗を飲む親横目にココア飲む 一年 西野 愛美
人一人歩くための雪を掻く 一年 小屋 晴穂
- 吉城高等学校
- 【入賞】
冷まじや缶コーヒーを頼にあて 三年 白山 穂高
手を横に茶の葉のごと朝の礼 一年 駒屋 めぐみ
蜜柑むき香まどう手を洗わずに 一年 和田 桃佳
野分来る休校願う高校生 一年 水上 可奈子

- (一社)高山市文化協会加盟団体
文化協会後援催事
岩島玲子和装学院
「成人式チャリティー着付け」
男女ともに希望に合わせて着付け・帯結びをします。事前にお申し込みください。
着付け料はいただきませんが、募金箱を設置させていただきます。福祉事業に寄付させていただきます。
- ◇日時 一月七日(日)
午前九時～
- ◇会場 高山市総合福祉センター(昭和町)
- ◇申込み・問い合わせ
岩島玲子和装学院内 廣瀬まで
TEL〇五七七・三三・四六〇七
TEL〇九〇・七〇四八・四七七九

平成30年 新春飾り物展

～干支「戌」と歌会始お題「語」～

■日時/ 1月12日(金)～14日(日)
午前9時～午後5時(最終日午後4時まで)
※最終日午後3時30分より、審査員による講評を行います。

■会場/ 高山市民文化会館 3階(予定)
講堂(一般の部)
美術工芸室(ヤングチャレンジ部門)

「酉」鶏舎
「野」夢は枯野を…
※写真は昨年のお天位作品

主催:高山市/(一社)高山市文化協会 共催:高山飾物同好会 お問合せ:事務局 TEL.0577-34-6550 mail@takayama-bunka.org

「父、江黒美胤」

江黒憲子

江黒美胤は、明治三十八年六月、高山市上川原町で江黒家の長男として誕生しました。

父は、幼少の頃は丈夫な子供ではなかったようですが、教育熱心な両親のもと斐太中学を卒業し、岐阜師範学校を経て金山の小学校の教員として赴任しました。

不馴れな土地で初めての教員生活はさぞかし大変だっただろうと想像しますが、親切に面倒を見てくれたのが妻となる知津子でした。その後六十年余、穏やかな家庭を築き二女四男の子に恵まれました。

短歌は、父が斐太中学に入



昭和34年、市立第四中学校校長室にて

学した大正七年に同校へ赴任された、歌人の松田常憲先生からの指導を受け「有斐」に作品五首が掲載されたことがきっかけとなり始めたようです。教員になってからも、教職の傍ら短歌研究に傾倒していきま

松田先生は、斐太高校退職後も何度か来高され、父の家にもよく立ち寄られました。その当時、私は江黒家へ嫁いだばかりで、短歌には縁遠い状況でしたが、案内役として市内各所を一緒に廻りました。その道すがら、城山から市街を一望している時に、松田先生の奥様の襟足に桜の木から毛虫が落ちて来て、大騒ぎして払い除けた出来事が懐かしく思い出されます。

父は、母と結婚した昭和五年に鎌手白映氏主宰の「裸形」同人になるなど作歌活動を続け、昭和二十二年には「飛驒短歌会」同人となり、翌年逝去された松田先生の歌碑建立に奔走し、城山二の丸公園に完成しました。この歌碑建立には、父をはじめ松田先生の指導を受けた荒垣秀雄さん、古池信三さん、小林幹さんら十四人の方々が尽力されました。



松田常憲歌碑

父は教師として定年を迎えるまで教育一筋に務めました。孫も一筋に余生を過ごしました。この他、宮村村歌、江名子小学校校歌の作詞、牧野英一遺稿集の編集なども行い、平成五年に高山市文化功労者顕彰を受賞しました。

父の生涯を顧みれば、明治、大正、昭和、平成とまさに激動の時代を生き抜き、その時代の中で、生きがい、求め、風情を楽しみ、幽玄な短歌の世界に入り、生命や自然の営みの神秘に触れたことは、歎びであったと思います。いつも穏やかで、腕白盛りの孫を背負って度々寝かしつけてくれた父の姿が思い出されます。

父は平成十二年五月、九十五歳で永眠しました。絶筆となった歌集「沙羅の樹」の中の短歌から、父の人格を読み取っていたければ幸いです。

年老ひて日々は無事なり天地の囁くごとく雨の音する山寺の十一時の鐘はわが一生聞きたりし音ああ今日も鳴る

ちかめて考えたい。

市長と語る会

開催報告

八月二十八日に市役所において文化協会主催の「市長と語る会」を開催しました。市からは國島市長をはじめ、中野谷教育長と幹部職員を含む市職員八名と、文化協会からは小林会長をはじめ役員十名が出席し、活発に意見を交換しました。

新高山市民文化会館（仮称建設）について

（協会）高山市では「高山市民文化会館整備基金」を整備していただき、当協会は平成二十八年度末までに二千万円を寄付した。また市内各所に募金箱を設置し、一般市民からも募っている。当協会では、本年度より「新文化会館建設計画特別委員会」を設置し、建設に向けての基本コンセプトとして以下の三点をまとめた。

- ・高機能の複合施設とする
・利便性を考え、建設は現在地もしくは隣接地とすること
・現行施設との役割分担を明確化すること

他地域の文化会館を視察し、ホール及び公民館の利用ニーズが変わってきていることを感じた。一般市民の発表会では現在の規模のホールは大きすぎるので、二階席を設けることなどでニーズに合わせた使い方ができるようにする。複合施設とすることによ

高山市文化協会賛助会員一覧

高山市文化協会の趣旨にご賛同いただき、文化活動を支えていただいている法人等をご紹介します。ご支援いただき、ありがとうございます。

- 蜻蛉舎 東流舞踊研究所 (株)アリス (株)伊千呂 (株)伊藤薬局 (株)岩佐鐵工所 打保法律事務所 (株)打保屋 (有)うな信 遠藤隆浩税理士事務所 大垣共立銀行 オオクラ(株) 柏木工(株) (株)栗本生花店 (株)ゴーアヘッドワークス (有)コサカ楽器 (一社)飛驒・高山観光コンベンション協会 阪下法律事務所 山都印刷(株) (株)三礼 市民時報旅行(株) (株)十六銀行高山支店 (株)松華堂文具店 新興自動車(株) 崇教真光 (株)洲さき (株)スズキ薬局 須田病院 (株)駿河屋魚一 (株)第一産業高山本店 高井整形外科眼科医院 高山金融協会 (株)高山グリーンホテル 高山市商店街振興組合連合会 (株)高山市民時報社 高山信用金庫 (有)高山石材 高山米穀協業組合 高山祭屋台保存技術協同組合 田中勝彦税理士事務所 (株)中日AVシステム飛驒営業所 中部電力(株)高山営業所

(一社)高山市文化協会では、個人・団体・賛助会員を随時募集しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

お問合せ先 tel.0577-34-6550 fax.0577-34-6877 E-mail. mail@takayama-bunka.org



り、来館した市民が展示会などに立ち寄るなどの効果が生まれる。市制九十周年の式典を新しい会館で開催することができれば幸い。

(市) 時期は決めます、場所や規模を含め、色々な視点から考え、十分な議論を尽くし、出来るだけ早く取り掛かりたい。ただ何もなしに議論するのではなく、ある程度のたたき台が必要で、その中心的な役割を文化協会に期待する。使う人の側に立った施設とする必要がある。

(協会) 高山市図書館を建てる際、色々な人々の意見を集

(市) 駅西の整備計画の中の交流施設が保留となつている。文化会館や福祉センター

(協会) 現状の展示施設は国際展などを行うにはお粗末であり、また搬入出の際に作品がエレベーターに入らないなど、改善すべき点は多い。新文化会館には、これらの点も考慮されたい。

(市) 現状の三階講堂は、展示室としてはお粗末であり、手を加える必要がある。早急

(市) 私のあしながおじさん」事業には協力させてもらいた

文化協会会員の平成29年入賞・受賞

- 小森 丈一(桐生町4) 秋の叙勲・旭日単光章受賞
野畑 国久(大新町1) 秋の叙勲・瑞宝双光章受賞
元田 木山(大新町2) 改組 新日展 彫刻部門 特選(2度目) 作品名「夢を持って、自信持って」
瀨川 賢一(新宮町) 改組 新日展 書部門 「かな」入選(11回目) 作品名「春」
大門 孝藏(新宮町) 板画院展・サクラクレパス賞 作品名「春まだ遠き里山」
山口 明彦(山口鈴倍・石浦町9) 岐阜県伝統文化継承者顕彰(邦楽・尺八)
周 雅子(若柳雅華・岡本町1) 岐阜県伝統文化継承者顕彰(日本舞踊)

「岡目(目)」 大河ドラマ「おんな城主直虎」が終った。浜松に行つて井伊家ゆかりの井戸を覗いたら、観光客達の投げた小銭がいっぱい光っていた。今川、武田、織田、北条等列強の権力闘争。その渦の中でいじめられつつの弱小の生き残り。勝ち残った徳川もやがて幕末で滅び、最後まで屋台骨を支えた井伊直弼大老も死ぬ。驕れる人も猛き者もついに...。あの戦国乱世というのはひどいもので、生き抜くためには親でも子でも、母でも妻でも犠牲にしていた。飛驒でも武田か上杉かで、父子が殺し合つて江馬氏は滅びた。それを元にした田中大秀の謡曲「藤橋」が、新能として江馬館で上演された。文化財は、ただ管理して残せばいいというものではない。上手に使い、生きて光つて文化を後世に伝えたい。 去年の天下分け目の総選挙は、一強の圧勝で終わった。惨敗した弱小野党は、逆境に耐え忍んで再び天下を狙えるか。お江戸の方では、女城主も苦戦していらつしやる。 過去に学んで明日に生かすのが歴史。もう「平成」の次の年号が待っている。 (ガンモン毛筆)

に実施する。

（協会）従来からの市民歴史散歩、文化協会特別展への支援に加え、新規事業「私のあしながおじさん」への支援をお願いしたい。この事業は、要保護の子どもたちとその保護者に、文化芸術鑑賞事業を無料で観てもらい、文化に触れる機会を持ってもらうもので教育委員会の協力が必要。

（市）一定の中だけでは偏つてくるので、色々なジャンルや外からの刺激は好ましい。 延長や、高山市美術展覧会の運営などについて、意見交換を

（市）私のおしながおじさん」事業には協力させてもらいた

（協会）先日、世界的に活躍されているパレエダンサーの岩田守弘さんを迎えて子ども向けにワークショップを開いた。単発でなく、今後も続けたい。文化芸術鑑賞事業でも子ども料金を設けて、多数来場されている。学校でも薦めてもらいたい。

その他、松本家住宅の公開